



HIROBO LIVE FACTORY

街に開かれた、模型製作工場

ラジコン・ヘリコプターのトップメーカーであるヒロボ株式会社、創業の地である府中市に「丘の上に建つ“見える工場”」をつくるというプロジェクトです。

コンセプトは、「観る」「知る」を通じて子供の頃の“ときめきを感じる”空間づくり。複数の世界企業を抱える府中市の産業観光拠点としての性格も兼ねており、それらの考えが「ライブファクトリー」という名称に込められています。

街を見渡す6段の丘という立地条件を利用し、2階のアプローチから1階に向かう見学動線上にさまざまな“ときめき”がシークエンスとして展開する空間の組み立てを行いました。

その構成を軸に、2階には研究開発部門やギャラリー・コラボレーションホール等を、1階には製造部門を配し、つくる過程を“見える工場”として実現しました。

更に、製品のデモンストレーションに加え、本物のヘリポートもある「芝生の丘」に面して、市街を眺めるレストランも併設しました。

ガラスとパネルでシンプルに構成された外観は空との繋がりをイメージさせつつ、自然採光・自然通風をふんにだん取り込む“装置”であり、敷地高低差を活用して排出土量を抑えたトータルエコな施設づくりと相まって、ここを訪れる人々に建築主のもてなしの心が伝わる空間となることを目指しました。



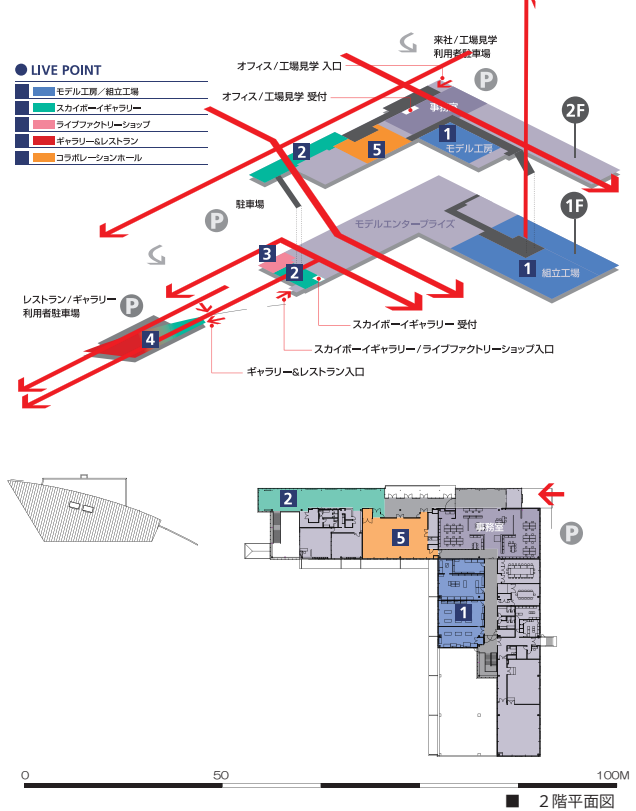
産業観光と製作の場をつなぐ LIVE POINT

産業観光につながる開かれた製作工場として目指したキーワードは“LIVE”。工場の現場はもとより見学者、来訪者、そして街までつながっていく新しい交流の場が探究され、結実した。それらをLIVE POINTとして空間構成としている。



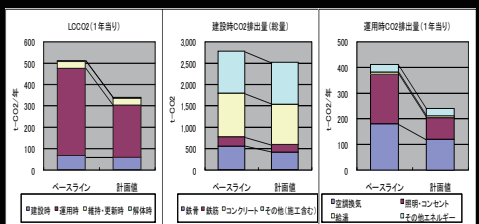
光・空・街と LIVE POINT をつなぐ Sequence Structure

府中市の高台に建つというロケーションを活かし、光と空と街をつなぐ Sequence Structure を空間の結節点に据えた



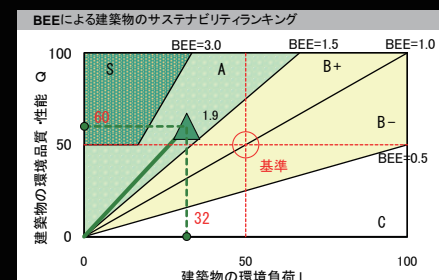
CO₂削減

1990年ベースに対してライフサイクルCO₂を34%削減を計画設定。
(建設時14%減、運用時41%減)
竣工後までフォローする運用「トータルエコ・システム」を提案・導入し、CO₂削減実施に貢献した。



CASBEE (建築物総合環境性能評価システム) A

「自然採光・自然通風」など様々な計画技術を織り込み、竣工時のランク「A」を達成。



排出土“ゼロ”を目指し、生態環境創出へ。

傾斜地における高低差6段の宅盤を敷地とする計画において、建物を段差部を利用した配置とし、敷地内ランドスケープとして「丘」を創出することで敷地内排出土“ゼロ”を目指し、CO₂削減に寄与した。

また、ランドスケープとして全面的な緑化を行い、景観への配慮とともに既存周辺生態系との連続性を創出する環境配慮を実施し、「緑をつなぐ」計画を実現。

